

原敬「原敬書簡」 大正3（1914）年6月18日

拝啓 過日は突然参上

仕、久々にて拝顔を得ありがたく難有

ぞんじたてまつり 奉存 候。さて扱、其節も一寸申上置候通、

西園寺侯、政友会総裁

辞任に付、小生そのあと其跡を継

ぎ候様、先達中より内談有之、これあり

遂に本日の党議にて決

定致候。就ては、公私とも此

上なから御添慮てんりよ相仰申度、

又何か御気付の事等有之これある場合は

直に御遠慮なく御内示被成下なしくだされ

度様、偏にひとえ奉願 候。ねがいたてまつり政友会ハ

申迄も無之これなく伊藤公創立の

ものにも有之、これあり何とか致し、故公の

遺志に叶ひ候様仕度存念にも

有之候に付、これあり何卒なにとぞ微意御諒

なしくだされ
察被成下御援助の程 奉懇願候

書外は拝顔の刻に譲り

とりあえず
不取敢右申置候。匆々頓首。

六月十八日

敬

井上老侯閣下

侍史